

マルエー5年間の状況

	19年	20年	21年	22年	23年	
廃棄物発生量	100	92	96	95	83	廃棄物を減らす行動を継続します
	18年を100とした数値					
廃棄物リサイクル率	31	34	47	50	55	リサイクル率を上げて行きます
	%					
店舗廃棄ロス率	0.71	0.62	0.61	0.61	0.55	廃棄ロスを減らして行きます
	%					
容器包装使用量	100	118	113	115	100	トレー使用量を減らして行きます
	18年を100とした数値					
店舗トレー回収量	97	100	100	98	94	回収を推進して行きます
	18年を100とした数値					
レジ袋持参率	89	89	91	89	90	レジ袋持参を推奨して行きます
	%					

フードドライブ定期開催

・・5月と10月の年2回の定期開催を継続します



5月27～28日

回収量 482kg

10月14～15日

回収量 404kg

多くの食品・日用品を持参頂きありがとうございました。回収品は「いしかわフードバンクネット」様に寄贈させて頂きました。

エコマル野菜の導入 ..地球に優しいエコマル野菜の販売を増やしていきます



エコマル野菜とは、

地元市場から仕入れた魚をマルエーで加工した時に出る魚残さから出来た肥料を使って野菜を栽培し、その野菜を「エコマル野菜」と名付け、マルエー店舗で販売

エコマル野菜の販売結果

エコマル野菜・アスパラ	4～5月	3000束
エコマル野菜・南瓜	8月	5000個

2023年いしかわエコデザイン賞

エコマル野菜・マルエー

金賞

第13回 いしかわエコデザイン賞 2023 サービス領域「金賞」

マルエーリサイクルループ=いしかわループ
地球に優しく美味しい地元野菜「エコマル野菜」の販売
株式会社 マルエー (白山市)

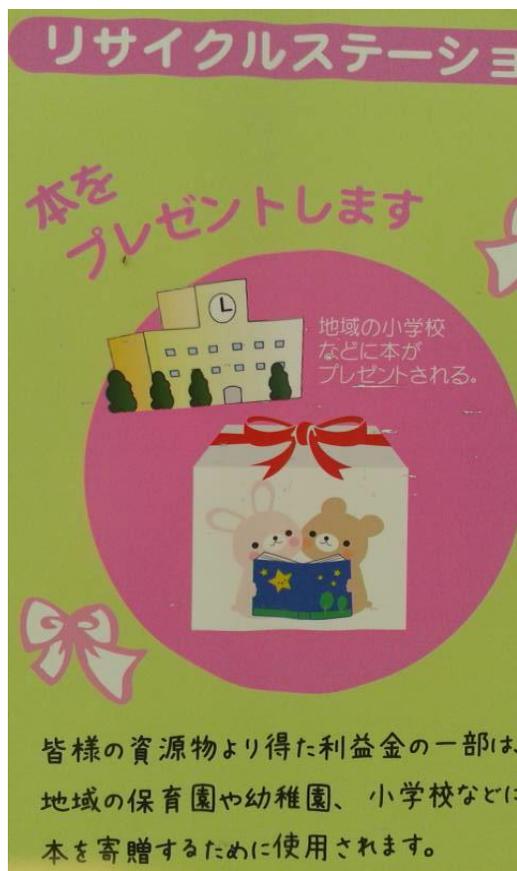
- 石川県内の市場から仕入れ、マルエー店舗から排出した魚の残渣を金沢水産衛生センターに送り、有機肥料にリサイクル。
- その肥料を地元農家さんに渡し野菜を作って頂き、その野菜を「エコマル野菜」としてマルエー店舗で販売するという、石川県内でエコなループを回す取組。
- このループにより、配送エネルギーを軽減、地産地消も実現。

<審査委員コメント>

地域密着型の量販店が魚の残渣を農業資源として地元農家で活用し、収穫した野菜を地域ユーザーに販売する、循環型の資源活用を実現させている点を高く評価。

もってきまっしの図書寄贈

..もってきまっし収益金の1部で近隣施設(小学校・保育施設等)に図書を寄贈する事を継続します



2022年度分 もってきまっし図書寄贈結果

施設数	98	施設
寄贈数	1864	本
累計本数	23736	本

マルエーエコステーション「もってきまっし」の皆様のご利用ありがとうございました。
今年度も上記本数を寄贈させて頂きました。今後も、この取組を継続して行きます。